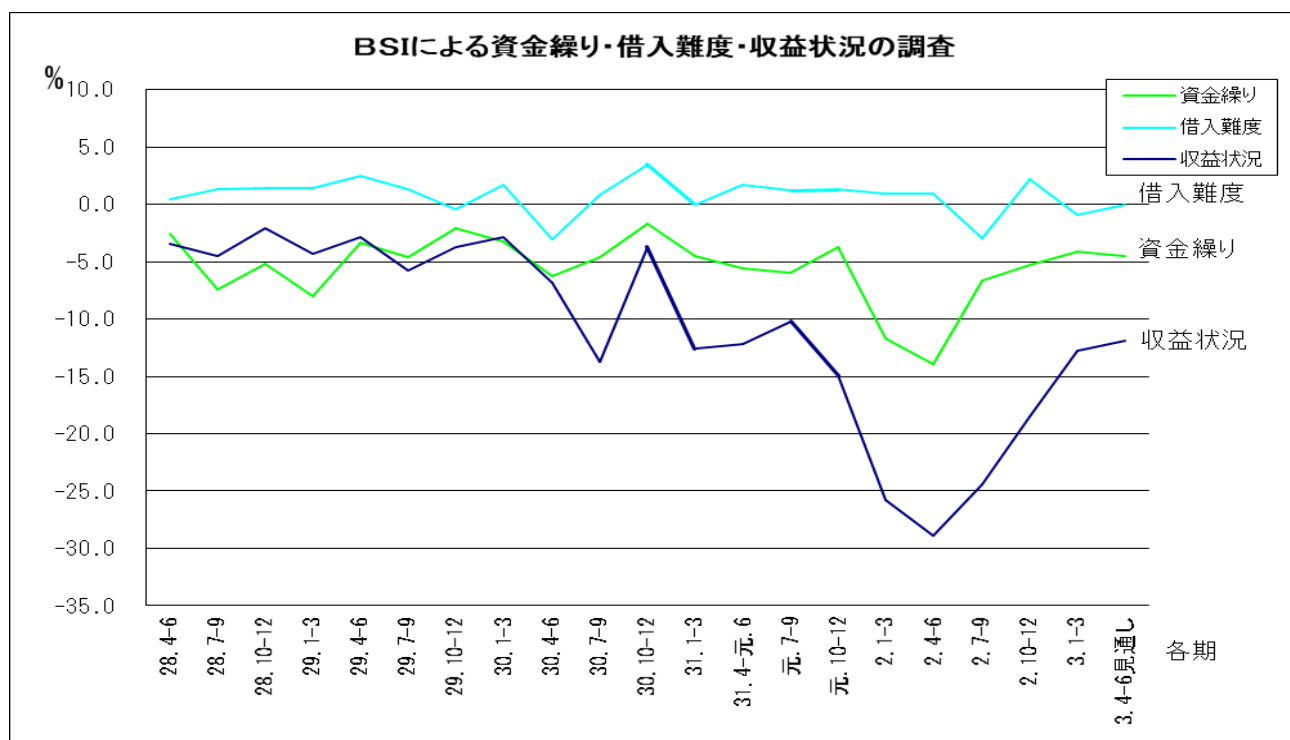
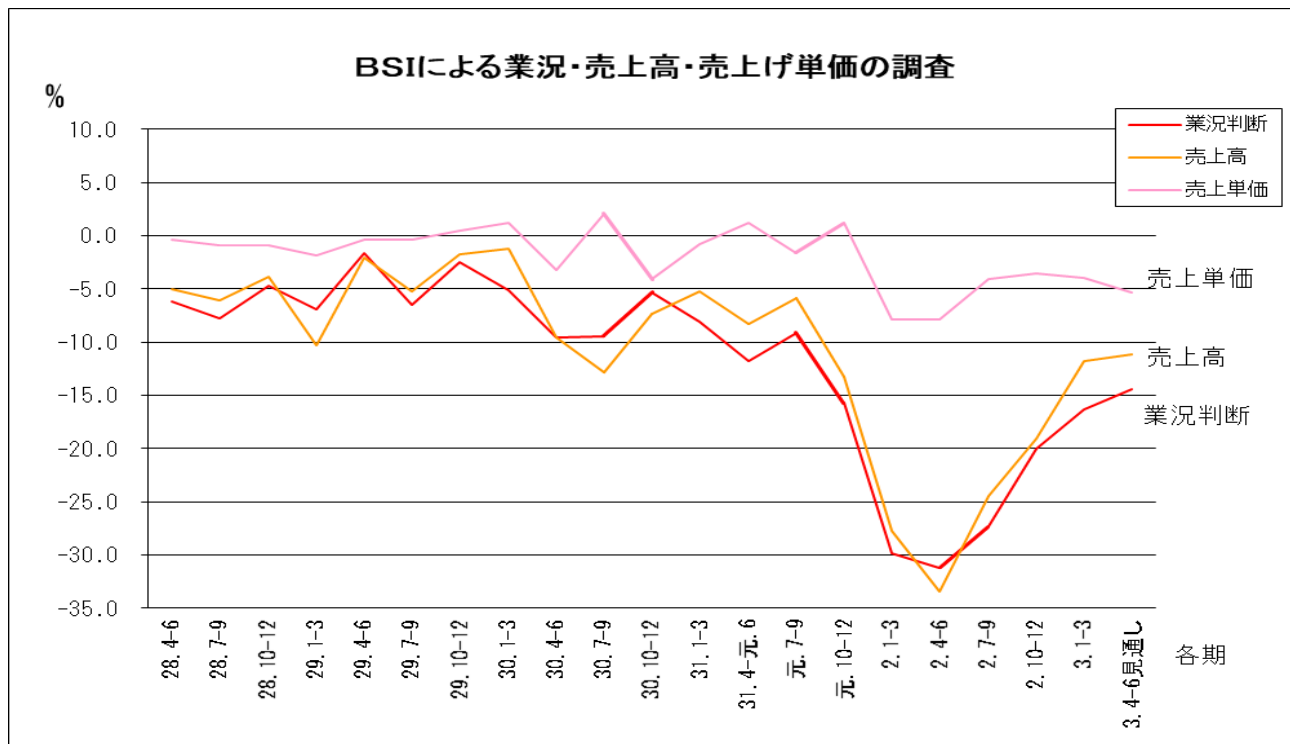


「業況判断」は3期連続で上昇し、来期も上昇見通し。
 「売上単価」「資金繰り」は下降予測。

中小企業景況調査令和3年1-3月期(令和3年4-6月期予測)

—鳥取県下4商工会議所の調査より—



*BSI=(上昇・増加ー減少・下降)×1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」=100)
 経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

今期は全ての項目で下降が見通されていましたが、「売上単価」「借入難度」を除き上昇しました。

来期は「売上単価」「資金繰り」「借入難度」での下降が見通されており、上昇が見通されている「売上高」「収益状況」「業況判断」も緩やかな上昇になっています。

産業毎の「業況判断」は「サービス業」が 0.3 ポイント下降しましたが、それ以外は上昇しました。

来期は「サービス業」で 11.9 ポイント、「製造業」で 9.2 ポイントと大きな上昇見通しがされていますが、「建設業」「卸売業」「小売業」では下降見通しがされています。

■直面している経営上の問題点

- 1位: 売上・受注の減少(20.11%)
- 2位: 消費・需要の停滞(15.36%)
- 3位: 人手不足(10.34%)
- 4位: 競争激化(9.78%)
- 5位: 経費の増加(8.66%)

■各社からのその他の問題点

- ・再びコロナ感染拡大が予想される中、民間の建設投資減少をカバーする施策に悩みを抱えている。(建設業)
- ・鳥取市のクラスターも民間企業は歓送迎会を自粛しているのに行政職員が節度を守らないようであれば自粛の意味がない。(製造業)
- ・市内で感染者が出ると客足が止まってしまう(サービス業)
- ・さまざまな支援が考えられているが自分の会社に適合する支援がない。また、申請の書類が面倒で提出を断念する場合があるので、申請方法を少し簡易にして欲しい。(サービス業)
- ・専門職員(電気工事)の不足(サービス業)
- ・コロナの変異種により、関西圏の急拡大及び県内にも影響が出ている。利用促進の地元向けキャンペーンなど(県・市)も動きが鈍い。一方で自粛、一方で宿泊利用促進が叫ばれているが、今はキャンペーンの効果も薄い。売上減に応じた給付金等はないものかと考える。(サービス業)
- ・国・県・市が様々な需要喚起の為のキャンペーンをしていただきありがとうございます。ただ、キャンペーンの開始・中止・終了等が短期間に複数起こる為、従業員の心身が付いていかなくなってきました。贅沢かもしれませんが、腰を据えて取り組んで頂きたいと思っております。(サービス業)
- ・テレビ、新聞等で不安ばかりを煽るのではなく、正確な情報を流していただきたい。(サービス業)
- ・物販に影響が大きく現われています。(小売業)
- ・観光産業(みやげ物含む)外食、居酒屋等が少しでも動き出せば結果が多少違ってくると思いますが。(製造業)
- ・安定した景気回復には至っていません。コロナにより、技術営業等、社外との接触を控えています。(製造業)